

西洋インド化計画

シタール 10万円～
60年代半ば、西社会の音楽シーンに多大なる影響を及ぼしたインドの弦楽器。ジミー・ペイジもジョージ・ハリスンもノックアウトした魔性の音色をマスターせよ



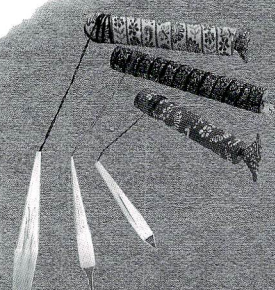
「音」と言えば...こんな店もある!

世界の珍楽器博覧会

うまく演奏するのは二の次
まずは触って楽しもう!!

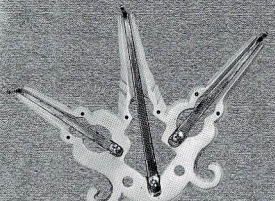
〔民族楽器 コイズミ みんながっつきコイズミ〕

年端もいかぬ子供からお年寄りまで、「寺町通でさあ、ほら、変わった楽器売ってるところ…」といやあ京都人ならピンとくる。その数なんと約30カ国で、約100種類。世界中をまたにかけ、基本的には現地調達。中には「どうやって演奏するのか分からないけど、面白そうだし入れとくか」みたいなノリもあるらしい。「難しく考えなくても、新しいオモチャだと思ってカチャカチャいじるだけでも楽しいですよ」。おや、意外に気さくなスタンス。気合い度充分の品揃えから「お遊びなら、とっとと帰えんな!!」なんて雰囲気かと思っただが、「1人でも多くの人に興味を持ってもらいたい、まずはそこから」と、楽器ごとにビギナー向けの教室なども開いている。創業は60年以上前。「戦後の混乱の中、とりあえず手元にあった蓄音機を売っていたのが最初だと聞いています」。昔はピアノとかギターとか至ってフツーの楽器を販売していたが、先代の旅行好きが高じて、35年程前からグローバル化が徐々にスタート。「初めはフランスのカズー(笛)なんか店先にちよろっとある程度だったんですけどねえ(笑)」。今や全国区で名を馳せる民族楽器の第一人者である。



虫歯もビックリ

タンホイ 480円～
ベトナムの口琴。口にくわえて指で弾くと、ひまよ〜んと口内で反響。お洒落な専用ケース付き



三位一体のフルセット

ショーハーブ 1万1650円
こちらもベトナムの口琴。それぞれキーが異なる3種類の口琴がワンセットの変わり種。歯に当てて音を奏でる



これ、アニメの効果音?

口琴 2520円～
国が進めばカタチも様々。歯に当てて、端っこをピンと弾けばあの「びよん音」が鳴るといふ。ど根性なキミに



ラッパ鳴らしていざ進め

スレハ 1万5000円
タブリリードのトルコの管楽器。オスマントルコ時代の勇壮な軍楽にも必要不可欠だったとか、自らを鼓舞する時に



見た目よし、叩いてよし

ジャンベ 5万円～
西アフリカでは超ポピュラー。演奏できればかなりカッコイイ。万が一挫折をしても、お部屋のインテリアに最適



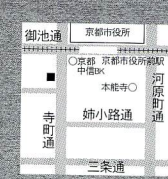
冷めやらぬ中国熱

二胡 4万2000円～
中国の山紫水明が目に浮かぶ、物悲しい響き…。悠久の大地に思いを馳せたい、ロマンチックなアナタに



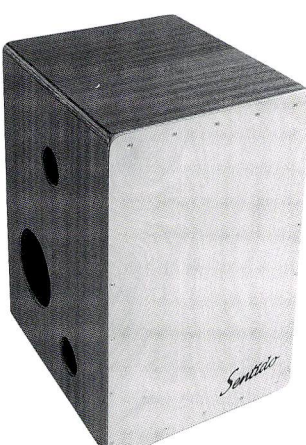
アメリカンラッカー!?

アサラト 840円～
(写真は1470円。チューンドbyコイズミモデル)
そもそもは西アフリカの子供のオモチャ。シャカシャカ振ったり、互同士をカチンとぶついたり、ストレス解消に



075・231・3052

京都市中京区寺町通御池下ル
11:00～20:00(火休(祝日は営業))
http://www.koizumigakki.com/



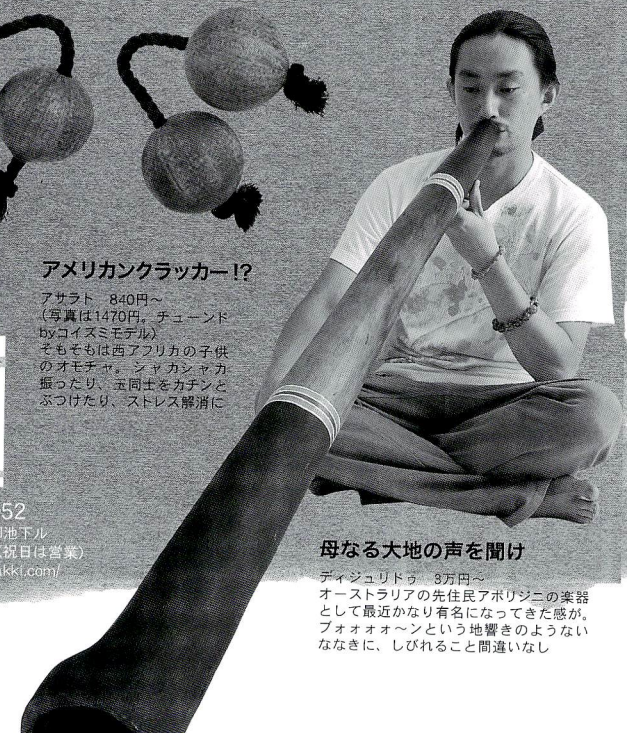
ただのハコにあらず

カホン 3万9900円
フラメンコには欠かせない、ペルー生まれの打楽器。こちらは2種類の音が楽しめる濱崎商会のリバーシブルタイプ



ハンガリーにもいた!

口琴 3150円～
栓抜き…?ではなく、実はこれも口琴。アジア圏だけでなく、ハンガリーなどヨーロッパにも口琴文化は広がる



母なる大地の声を聞け

ディジュリドゥ 3万円～
オーストラリアの先住民アボリジニの楽器として最近かなり有名になってきた感が、ブオオオ〜ンという地響きのようななきに、しびれること間違いなし